

1 1 月定例教育委員会

資料報告

○資料報告一覧

- 予算決算委員会（決算審査）の概要について（各課共通）
- 令和4年10月臨時県議会の概要について（各課共通）
- 研究指定校の研究発表会について（義務教育課）
- 令和5年3月公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について（高校教育課）
- 令和5年度県立学校校長・副校長及び教頭選考第1次試験の結果について（高校教育課）
- 令和5年度県立学校教員（水産科及び英語科教諭）採用特別選考について（高校教育課）
- 令和5年度県立学校教員（船員）採用選考について（高校教育課）
- 第18回長崎県高等学校総合文化祭（しおかぜ祭）及び第17回長崎県中学校総合文化祭について（学芸文化課）
- 令和4年度長崎県高等学校総合体育大会駅伝競走大会について（体育保健課）
- 第77回国民体育大会の結果について（体育保健課）

件名	<p style="text-align: center;">予算決算委員会（決算審査）の概要について</p>
概要	<p>1. 日程</p> <p>総括質疑 令和4年10月17日（月）</p> <p>分科会 令和4年10月18日（火）</p> <p>2. 総括質疑における質疑事項</p> <p>○教育行政について～読書の推進について～ （北村貴寿委員）</p> <p>○教育行政 （川崎祥司委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の社会教育活用 ・いじめ対策 <p>3. 予算決算委員会文教厚生分科会における質疑事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ不登校対策事業について ・食物アレルギー対策事業について ・ICTを活用した教育の推進について ・高校生の離島留学の推進について ・部活動改革事業について ・ふるさと教育の推進について ・コミュニティ・スクールの推進について <p style="text-align: right;">ほか</p>

予算決算委員会（決算審査）総括質疑の概要について

概 要

「予算決算委員会（決算審査）総括質疑」での教育委員会関係の主な質疑応答

北村 貴寿 委員

◇教育行政について

（1）読書の推進について

①学校司書の配置状況について、本県は、他県と比べてどのような状況になっているのかお尋ねしたい。

（教育長答弁）

令和2年度に文部科学省が行った調査では、本県の学校司書の配置率は、小学校が約89パーセント、中学校が約86パーセントであり、いずれも全国平均を約20パーセント上回っております。

一方、高等学校においては、離島・半島で小規模化している学校もあることから、専任の学校司書の配置率は約50パーセントで全国平均を約16パーセント下回っておりますが、他の業務と兼務する職員を合わせると、9割程度の学校に図書館担当職員を配置しています。

②本県の児童生徒の読書活動は、他県と比較してどのような状況かお尋ねしたい。

（教育長答弁）

本県が昨年度実施しました調査においては、1か月あたりの読書量は、小学生の全国平均12.7冊に対し、本県は14.8冊、中学生は5.3冊に対し、5.4冊、高校生は1.6冊に対し、3.2冊となっており、いずれも全国平均を上回っております。

さらに、小学校から高校までの児童生徒のアンケートを取りましたら、約8割が「読書が好き」または「どちらかといえば好き」と答えており、本県の児童生徒の読書活動につきましては良好な状況にあると認識しております。

③子どもの読書活動を推進するにあたって、県としてどのような取組を行っているのかお尋ねしたい。

（教育長答弁）

本県では、第四次の「長崎県子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が相互に連携して、県民総がかりで子どもの読書活動を推進するための取組を実施しているところです。

具体的には、乳幼児から高校生までの子どもの成長に合わせた「長崎県の子どもにすすめる本」の紹介や、参加者同士で本を紹介し合って、最も読みたい本を投票で決めます「長崎県中学生ビブリオバトル大会」の開催により子どもの読書習慣の定着を図っているところです。

併せまして、先ほどお話にありました学校図書館司書等を対象とした研修会を実施するとともに、図書ボランティア向け研修会も各市町と連携して開催するなど、読書関係者の資質向上にも取り組んでおり、今後とも様々な取組を通じて子どもの主体的な読書活動の推進に努めてまいりたいと考えております。

川崎 祥司 委員

◇教育行政

(1) 学校施設の社会教育活用

①学校施設の年間稼働日数についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県立高校については、通常、土、日、祝日や夏季・冬季などの休業日を除き概ね200日程度の教育活動を行っております。

加えて、各学校の取組として、休業日であっても授業や補習、部活動などを行っており、年間を通して計画的に使用されております。

②社会教育法第44条では、「学校の管理機関は、学校教育上支障がないと認める限り、その管理する学校の施設を社会教育のために利用に供するように努めなければならない」とあるが、こういった取り組みがなされたかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県立学校においては、学校が地域に親しまれ、県民の生涯学習や文化・スポーツ活動の振興に寄与するものとなるよう、施設を県民に開放しております。

具体的には、県教育委員会が実施する「ながさき県民大学」において、地理や歴史に関する講座や子ども科学教室など、生涯学習の場として利用されているほか、体育館や運動場については、バスケットボールやサッカーなど、地域住民の社会体育の場としても利用されているところです。

③民間の事業者がリスクリングを実施するにあたり、稼働中の学校施設を活用できないか伺いたい。

(教育長答弁)

学校教育法においては、教育活動以外の学校施設の利用は社会教育や公共的な目的に限られており、現在、民間の事業者による営利を目的とする活動には、利用できないこととなっております。

一方、国においては、部活動の地域移行とあわせて、学校施設の民間への開放について議論されている状況もあるため、引き続き、国の動向を注視してまいりたいと考えております。

(2) いじめ対策

①令和4年3月議会において、いじめ撲滅に向けた県教育委員会としての決意を述べられたところであるが、令和3年度、どのような取組を行ってきたのか伺いたい。

(教育長答弁)

令和3年度は、いじめ問題への対応を強化していくため、スクールカウンセラーの配置拡充を行うとともに、電話やメール、SNS等の相談窓口など教育相談体制の充実に努めてまいりました。

また、高等学校でのいじめ重大事態を受け、令和3年度末には、全高等学校長や教頭・副校長を対象とし、いじめ問題に向き合う姿勢や危機意識を醸成するための研修会を新たに計画し、本年4月から5月にかけて実施したところです。

加えて、本年5月には、全ての県立学校にいじめの防止等に関するチェックリストを配布し、法やガイドラインに沿った対策の実施状況等について総点検を実施したところであり、引き続き、いじめ防止に向け取り組んでまいります。

②いじめが起こる背景や原因をどうとらえているのか。そして、いじめ問題に対して、根本的にどう解決を図ろうとしているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

いじめは、子供達の心理的ストレス、情動コントロールの未熟さ、遊び感覚やふざけ意識など、様々な背景や原因により起こるものと考えています。

いじめを未然に防止するためには、まずは子供達が一人一人の違いを認め合う人権意識を高めていくことが必要と考えており、県内すべての公立学校において、いのちを輝かせて生きる心豊かな子供たちを育む「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に取り組んでいるところです。

併せて、近年増加しているSNSによるいじめの問題に対処するため、情報モラルの学びを通して、思いやりや規範意識の醸成にも取り組んでおり、引き続き、生徒指導はもとより、様々な教育活動を通して、いじめ根絶に向け全力で取り組んでまいります。

<p>【活動内容】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【実施状況】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【成果】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【今後の課題】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>
<p>【活動内容】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【実施状況】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【成果】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【今後の課題】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>
<p>【活動内容】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【実施状況】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【成果】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【今後の課題】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>
<p>【活動内容】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【実施状況】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【成果】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>	<p>【今後の課題】 1. 情報モラル教育の推進 2. 防犯教育の実施 3. 交通安全教育の実施 4. 防災教育の実施 5. 環境教育の実施 6. 職業教育の実施 7. 国際教育の実施 8. 生涯学習の実施 9. 地域連携の実施 10. その他</p>

予算決算委員会（決算審査）文教厚生分科会における主な論議事項

項目	質問者	質問要旨	答弁者	回答要旨
いじめ不登校対策事業	松本委員	なぜ、指標を「学校内及び学校外の専門的な相談や指導を受けた不登校児童生徒の割合」に変更したのか。	児童生徒支援課長	不登校児童生徒を減らしたいという思いは強く、そのこと自体は変わらない。一方で、令和元年度に文部科学省が不登校支援の方向性を示しており、それを受けて、指標を変更した。
		どうやってこの数値目標で不登校児童生徒の解消に取り組んでいくのか。		学校だけでなく市町教育委員会、関係機関、あるいはフリースクール等の民間施設等と連携しながら、個々の状況に応じて社会的自立に向けて一歩踏み出す支援を進めていく。こういったことを地道に重ねることで不登校児童生徒の減少につながっていくと考えている。
		令和2年度と3年度の実績を見ると、派遣回数が292回から402回に増えているが、予算は減額になっている。これについては、どのような経緯か。		令和2年度はスクールカウンセラーの追加配置に要する経費を補正予算により計上した。未配置校に追加で配置を行ったため、これらの学校への派遣が不用となり、結果として派遣回数が減となった。令和3年度は補正予算がなかったため、令和2年度に比べ、派遣回数が再び増となった。
		現在、未配置校はどれくらいの学校数になっているのか。		令和4年度は配置校数が322校であり、232校が未配置となっている。
		教育支援センターの通所児童生徒数が令和2年度が0、令和3年度が2となっているが、どのような状況か。		現在、教育支援センター未設置となっている7市町の子どもたちや県立学校の不登校生徒を受け入れるため、県に教育支援センターを設置している。令和3年度は、そこに2名が通級し、学校復帰を果たしている。
		通級児童生徒が2名ではもったいない。県の教育支援センターに通えないのであれば、例えば、ネットを活用してできることもあるのではないか。		オンラインによる不登校児童生徒への支援の在り方について、現在、教育センターで調査研究を開始したところである。その研究成果を各市町へ共有することで、不登校支援の一助にしていきたい。
いじめ不登校対策事業	饗庭委員	令和2年度の実績から、達成状況が「遅れ」となっているが、これから不登校児童生徒が相談できる体制を作っていくためにどのようなことをしていくのか。	児童生徒支援課長	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置方法を工夫するとともに、人材確保が難しい離島在住のスクールカウンセラーを例年より早く募集し、旅費を削減することで、配置時間を拡充する等の改善に取り組んでいる。
		ぜひ全校にスクールカウンセラーを一人は配置してほしいと思うが、この計画で行くと、全校に置くとしたら何年後ぐらいになるのか。		全校すべてに配置するというのは、予算の限りもあるもので、難しい状況である。引き続き、市町と連携しながら、拠点校方式等の工夫や見直しを行って、1校でも多く配置をしていきたい。
		不登校児童生徒への支援にSNSを活用できると思うが、拡充していくという考えはないか。		令和2年度、3年度はコロナ禍で、特に離島部において面談指導等できなかったこともあり、一部でオンラインを活用して課題を抱えた子どもたちと面談をした事例もある。今後、そういった知見を活かして、子供たちの実態に応じて、活用していきたい。
	坂本委員	令和3年度の配置校317校の内訳はどうなっているか。		小学校が146校、中学校が141校、高等学校が27校、特別支援学校が3校となっている。
		現在、中学校が160校近くあると思う。この160校に配置することが当面の目標と考えてよいのか。		まずは重点的に中学校に配置をしたいと考えている。
		令和3年度の派遣回数は、ここ数年と比較してどうか。		ここ数年は400回前後で推移しており、昨年度が特別多かったということはない。

予算決算委員会（決算審査）文教厚生分科会における主な論議事項

項目	質問者	質問要旨	答弁者	回答要旨
食物アレルギー対策事業	松本委員	令和3年度の食物アレルギー事案件数10件の主な原因は。	体育保健課長	誤配食などの人的ミスが主な原因である。内訳は、誤配食が7件、栄養教諭の確認不足、保護者との確認不足、その他が1件ずつである。
		誤配食が主な原因ということだが、事案の防止対策としてどういうことをしているのか。		家庭との連絡、教職員の体制整備、当該児童の自己管理能力の育成に加え、同じ教室で一緒に給食を食べる児童生徒に、食物アレルギーについて理解させ、学級全体で当該児童を守る環境づくりが必要だと考えている。このため、学校におけるアレルギー疾患についての対応マニュアルやガイドラインなどの通知に加え、発生事案やヒヤリハット事案をまとめ各学校に示し未然防止に努めている。また「人のみでの対応」でリスクを減らすには限界があるため、ICTを活用した食物アレルギー管理システムを構築し、人的ミスによるリスクを極限まで減らす取組を行っている。
		食物アレルギーを持つ児童生徒の割合や人数はどれくらいか。		今年7月の調査において、小学校では66,591人中、有症者が3,118人で割合は4.68%、中学校では32,052人中、有症者が1,468人で4.58%となっており、近年増加傾向である。
		活動指標欄に食物アレルギー管理システム活用市町数が4や6とあるが、このシステムはどういうもので、なぜ4や6という低い普及率なのか。		このシステムは、児童生徒が有する食物アレルギーの情報を登録し、別にある献立情報をシステムに取り込むことで個人ごとのアレルギー情報と食材に含まれるアレルゲンのチェックを自動で行うことができるシステムである。このシステムを導入することで、対応食の配膳から喫食までのチェックが複数の職員によって対応が可能となる。市町への導入が進まない背景として、システム保守や維持管理費の一部を市町が負担するため予算確保が難しいことや、県のサーバーに個人情報を保管しインターネットで共有するという点で、個人情報の管理上の不安、また、対応者数が少ないことから従来通りの対応をしている市町があり、導入が進んでいない。
食物アレルギー対策事業	松本委員	4,500人近い児童生徒がアレルギーを持っている状況の中で、令和3年度は10件もアレルギー事案が発生している。市町の負担もあるが児童生徒の安全を確保するために県が作ったシステムなので多くの市町へ導入を広げていく動きが必要だと思うが、どう考えているか。	体育保健課長	年度初めの市町担当者会でも紹介している。10件は大きな数字だと認識しており、事案によっては命に関わることもあるので、極限までリスクを下げていくような働きかけを市町へ行っていくきたい。
ICTを活用した教育の推進	宮本委員	「GIGAスクール生徒用端末等整備事業」において、端末の活用により児童生徒の学習に取り組む態度が主体的になったと回答する教員の割合が、目標値100%に対して実績値82%となったことの受け止めは。	高校教育課 ICT教育推進室長	令和3年度に端末が整備され、従来の教育活動をICTを活用して行うという点に関しては、初年度においては概ね達成したものと受け止めている。今後は、個別最適な学びや協働的な学びなどのICTならではの学びを重点的にすすめていく必要があると考えている。
	宮本委員	上記目標値の県立高校における割合が70%となっている根拠は。		段階的に学びの質を高めることが適当であると考えてため、初年度は70%としている。
	宮本委員	ICTの活用における地域や学校間の取組の差を解消するための取り組みは。		先進的な取組事例の横展開や、いつでも視聴可能な研修動画の提供及び教科別の研修により、教員同士がスキルを高め合うような取組を実施していく。
	坂本（浩）委員	教員の端末の活用については、現場において戸惑いがあると思われる。ICT活用に長けている先生がいるから、学校が回っているとも聞く。学校間で温度差がない取組を進めてもらいたい。	義務教育課長	市町教委と協力しながら、研修会の開催など、全ての学校に支援する取組を行っている。昨年度、中核市や以前から端末を導入している市町においては、独自の研修を行っている自治体もあり、実施を希望する市町において研修を実施した。
	坂本（浩）委員	一人一台端末について、令和3年度に何台整備したのか。また、その財源は何か。	教育環境整備課長	地方創生臨時交付金を活用して、令和3年度に生徒用23,186台、指導者用2,217台を整備した。

予算決算委員会（決算審査）文教厚生分科会における主な論議事項

項目	質問者	質問要旨	答弁者	回答要旨
ICTを活用した教育の推進	坂本（浩）委員	一人一台端末の更新は何年後か。またその財源は。	高校教育課 ICT教育推進室長	更新は5、6年後を想定している。財源については、国や他県の状況を踏まえて検討していく。
	前田委員	学校へのWi-Fiアクセスポイントの設置状況はどうか。また、その財源は何か。	教育環境整備課長	県立学校においては、補助金等を活用して、普通教室にアクセスポイントを設置した。
		避難所に指定されている体育館は何か。また、Wi-Fiアクセスポイントが整備されているのは何か。	教育環境整備課長	県立学校の体育館については、県立高校において56校中50校、特別支援学校において17校中10校が避難場所として指定されており、そのうち3校が独自にアクセスポイントを整備している。
		避難所に指定された体育館など、普通教室以外の場所のWi-Fiアクセスポイント設置について、今後どのように整備していくのか。	教育長	優先順位を付けながら、可能な限りWi-Fiのアクセスポイントを整備する。避難所として利用される体育館等への設置については、市町に働きかけていきたい。
高校生の離島留学の推進	大場委員	主要な施策82頁の高校生離島留学推進事業の成果指標「離島留学制度による留学者数」の達成率63%である理由は。	高校教育課長	コロナ禍により宿泊体験や体験活動が十分にできなかったため留学者数が落ち込んだが、令和4年度は実施しており、今後留学者数は回復するものと考えている。
		在籍している離島留學生の声は届いているか。		宍岐高校、対馬高校においてはコロナ禍により海外語学研修が実施できなかったため、生徒の満足度はやや下降気味であるが、代替研修等も行い、令和4年度は語学研修も実施できるものと考えているため今後の満足度は上昇すると考える。
		県立高校における、語学以外の幅広い分野での特色づくりに関して今後の考えは。		地元自治体とも意見交換をしながら、県立高校の魅力化をすすめていきたい。
部活動改革事業	大場委員	運動部活動指導員の目標数に対して配置数が足りていないが、何か理由があるのか。	体育保健課長	目標値33名の内訳は、県立高校12名、県立中学校1名、市町立中学校20名の予定であったが、実績として市町立中学校が9名で合計22名となっている。配置が進まない理由は、指導にあたる時間が短いことや人材確保が難しいことが挙げられる。
		人材確保について、競技種目によって偏りがあるのか。	体育保健課 体育指導監	指導者の数が競技人口の多い競技に偏っているという現状はない。
		今後、休日の部活動が地域へ移行していく際、指導員の発掘、配置が重要になると思うがどうか。	体育保健課長	指導員の確保は休日の部活動の地域移行に向けても大きな課題の一つである。運動部活動指導員について、市町によっては大学生の活用が行われている。そういう工夫をしながら人材の確保に努めていきたい。
ふるさと教育の推進	鵜瀬委員	ふるさと教育については、一定成果が出ていると思われる。今後は、小中高一体となって進めていくべきだと思いが県の考えは。	義務教育課長	さらに一貫的・系統的に進めるため、市町の教育長とも2度にわたりふるさと教育のあり方について議論を進めてきた。さらに、秋ごろに研究校において、研究発表会があるが、そこに小中高の先生が集まりながら協議を進めるとともに、具体的に一貫した取組を進めるための研究を今後も進めていきたい。
		「長崎を元気にするアイデアコンテスト」において発表されたプランについては、活動として実施するか。	高校教育課長	各県立高校における地域課題の解決のための取組については県として支援していく。

予算決算委員会（決算審査）文教厚生分科会における主な論議事項

項目	質問者	質問要旨	答弁者	回答要旨
コミュニティ・スクールの推進	山口（経） 副委員長	学校支援会議があるところはそれを協議会に切り替えれば、すぐにでもコミュニティ・スクールの導入ができるということだが、学校支援会議がまだ導入されていないところがあるのか。	生涯学習課長	学校支援会議については、それができた当時すべての学校に導入された。そして、それが少しずつコミュニティ・スクールに移行している。
		これまでコミュニティ・スクールを導入した学校において、地域の方々とのような関わりがあったか。	義務教育課長	コミュニティ・スクールについては、学校経営に保護者や地域の方々が参画するということで取組を進めていただいている。例えば、ふるさと教育の推進や学校の働き方改革などで、積極的に関わっていただいているという状況が生まれている。
		地域や学校の行事がコロナによってなくなってしまったことに寂しさを感じている方々がいる。コロナ対策をしながら学校行事を地域に開放していくことがこれからの在り方ではないかと思うがいかがか。	教育長	コロナ禍の状況も踏まえて、今、子どもたちを取り巻く教育環境は非常に厳しくなっており、学校現場だけの取組では限界があると思っている。できるだけ地域の方々や保護者の方々や連携協働しながら、いろんな取組を進めていくことが大事であり、今後、ふるさと教育や探究的な学びの中にも、地域の方々と一緒にするような取組を進めていきたいと考えている。

件名	令和4年10月臨時県議会の概要について				
概要	<p>1. 日程</p> <table border="1"><tr><td>会期</td><td>令和4年10月31日～令和4年11月1日</td></tr><tr><td>分科会</td><td>令和4年10月31日</td></tr></table> <p>2. 議案</p> <p>原案のとおり可決</p> <ul style="list-style-type: none">第107号議案（予算議案） 令和4年度長崎県一般会計補正予算（第10号）のうち関係部分 <p>3. 文教厚生分科会における質疑事項</p> <ul style="list-style-type: none">PTAが負担している県立高等学校等の空調に係る電気代等の補助について	会期	令和4年10月31日～令和4年11月1日	分科会	令和4年10月31日
会期	令和4年10月31日～令和4年11月1日				
分科会	令和4年10月31日				

令和4年10月臨時県議会の概要について

概 要

「予算決算委員会 文教厚生分科会」での教育委員会関係の主な概要

【議案】

□ 第107号議案 令和4年度長崎県一般会計補正予算(第10号)のうち関係部分

●PTAが負担している県立高等学校等の空調に係る電気代等の補助について

(前田哲也委員)

空調の電気代に係る補正予算は、次年度から実施する空調公費化を前倒しするという理解で良いか。また、該当する学校数はどのくらいかお尋ねしたい。

(教育環境整備課長)

今回の補正予算は、PTAが設置している空調に係る経費を全額補助するものである。対象とする学校数は、空調を設置している48校である。

件名	令和4年度研究指定校の研究発表会について					
	期日	指定校名	研究の内容	指定年度		
				R3	R4	R5
概要	11月11日	川棚町立石木小学校	人権教育	中間発表	本発表	
	11月11日	佐世保市立中里小学校	ICTを活用した研究	中間発表	本発表	
	11月14日	島原市立三会中学校	道徳教育	中間発表	本発表	
	11月22日	佐世保市立中里中学校	ICTを活用した研究	中間発表	本発表	
	11月22日	長崎市立長崎中学校	ICTを活用した研究	中間発表	本発表	
	11月24日	長崎市立横尾中学校	学校や地域が抱える課題や実態等に応じた研究		中間発表	本発表
	11月25日	諫早市立喜々津中学校	ふるさとキャリア教育	中間発表	本発表	
	11月25日	長与町立長与中学校	ふるさとキャリア教育	中間発表	本発表	
	11月28日	平戸市小学校教育研究会外国語部会 (会場：平戸市立生月小学校)	外国語教育		本発表	
	11月30日	新上五島町立上五島中学校	ふるさとキャリア教育	中間発表	本発表	
	12月8日	長崎市立外海中学校	ふるさとキャリア教育	中間発表	本発表	
	12月9日	壱岐市立勝本中学校	ふるさとキャリア教育	中間発表	本発表	
	12月16日	諫早市立小野中学校	ふるさとキャリア教育	中間発表	本発表	
	12月16日	平戸市立大島中学校	ふるさとキャリア教育	中間発表	本発表	
	1月17日	松浦市立志佐中学校	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	中間発表	本発表	
	1月20日	五島市立翁頭中学校	読解力の育成を目指した教科等の研究		中間発表	本発表
	1月20日	南島原市立有家小学校	読解力の育成を目指した教科等の研究		中間発表	本発表
	1月26日	長崎市立鳴見台小学校	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	中間発表	本発表	

件名

令和5年3月公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について
〔10月末現在 全日制・定時制 高校教育課調査〕

概要

1 就職内定状況

項目	令和3年3月卒 (10月末)	令和4年3月卒 (10月末)	令和5年3月卒 (10月末)	増減
県内 (%)	62.9	75.4	73.4	-2.0
県外 (%)	69.9	74.3	81.5	+7.2
全体 (%)	65.2	75.1	76.0	+0.9
県内割合 (%)	65.2	70.2	65.6	-4.6
県外割合 (%)	34.8	29.8	34.4	+4.6
県内求人数 (人)	3,795	4,091	4,769	+678
未内定者数 (人) (うち公務員)	851 (343)	538 (342)	501 (320)	-37 (-22)

※県内求人数は、長崎労働局9月末のデータである。

- 全体の就職内定率は、76.0%で、前年同月比0.9ポイント増加している。
- 県内割合は、65.6%で、前年同月末比4.6ポイント減少している。
- 未内定者数は、501人で、前年同月比では37人減少となっている。

2 学科別就職内定状況

学科名	卒業 予定者数	就職希望者数			就職内定者数			就職率			内定者		昨年同月 県内割合
		県内	県外	小計	県内	県外	小計	県内	県外	計(A)	県内割合		
普通	3,855	215	74	289	114	48	162	53.0	64.9	56.1	70.4%	79.8%	
農業	450	202	50	252	134	29	163	66.3	58.0	64.7	82.2%	81.0%	
工業	1,125	480	397	877	395	355	750	82.3	89.4	85.5	52.7%	58.0%	
商業	785	255	81	336	203	64	267	79.6	79.0	79.5	76.0%	85.4%	
水産	44	27	8	35	22	8	30	81.5	100.0	85.7	73.3%	57.7%	
家庭	88	7	0	7	6	0	6	85.7	-	85.7	100.0%	92.3%	
看護	23	0	2	2	0	0	0	-	0.0	0.0	-	0.0%	
情報	38	2	1	3	2	0	2	100.0	0.0	66.7	100.0%	100.0%	
福祉	8	0	1	1	0	1	1	-	100.0	100.0	0.0%	100.0%	
その他	320	11	3	14	5	2	7	46.5	66.7	50.0	71.4%	60.0%	
総合	712	219	53	272	160	39	199	73.1	73.6	73.2	80.4%	78.7%	
合計(a)	7,448	1,418	670	2,088	1,041	546	1,587	73.4	81.5	76.0	65.6%	70.2%	
昨年同期計(b)	7,679	1,508	649	2,157	1,137	482	1,619	75.4	74.3	75.1			
昨年同月比(a)-(b)	-231	-90	21	-69	-96	64	-32	-2.0	7.2	0.9			

3 今年度の主な取組

長崎労働局や県若者定着課と連携し以下を実施。

○「高校生のためのふるさと長崎就職応援事業」

就職希望者が多い高校（41校）にキャリアサポートスタッフ（24人）を配置し、生徒や保護者に対して県内企業の魅力と情報を提供するとともに、学校内での企業説明会、インターンシップの支援等を実施することで、県内企業への就職等を支援。

○県内高卒求人確保キャンペーン 5月11日（水）

新規高卒者の県内就職を促進するため、ハローワークへの早期求人申込。

○合同企業面談会

県内への早期就職決定を促進するため、求人企業と県内就職希望者が一堂に会する面談会を実施。

県北会場 10月14日（金）

県南会場 10月17日（月）

○各校にNなび登録企業の求人未充足情報（154社）を提供し、県内就職を促進

件名	令和5年度県立学校校長・副校長及び教頭選考第1次試験の結果について																																				
概要	<p>1 選考第1次試験日程等</p> <p>(1) 方法 課題論文</p> <p>(2) 期日 令和4年9月14日(水)までに提出</p> <p>2 選考第1次試験結果</p> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 35%;">校長・副校長</th> <th style="width: 35%;">教 頭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受 験 者</td> <td>33 (4)</td> <td>45 (6)</td> </tr> <tr> <td>1次合格者</td> <td>27 (4)</td> <td>32 (5)</td> </tr> <tr> <td>倍 率</td> <td>1.2倍</td> <td>1.4倍</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">() は女性の数で内数</p> <p>3 過去3カ年の1次試験の受験者と合格者の状況</p> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">校長・副校長</th> <th colspan="2">教 頭</th> </tr> <tr> <th>受験者</th> <th>合格者</th> <th>受験者</th> <th>合格者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>45 (2)</td> <td>36 (2)</td> <td>63 (8)</td> <td>45 (7)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>33 (2)</td> <td>29 (2)</td> <td>62 (9)</td> <td>49 (7)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>31 (7)</td> <td>25 (6)</td> <td>46 (7)</td> <td>37 (6)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">() 内は女性の数で内数</p> <p>4 結果通知</p> <p>所属長・本人あて 令和4年11月11日(金)</p> <p>5 選考第2次試験日程等</p> <p>(1) 方法 面接</p> <p>(2) 期日</p> <p>① 校長・副校長 令和4年12月14日(水)～12月16日(金)</p> <p>② 教頭 令和4年12月19日(月)～12月22日(木)</p>	区 分	校長・副校長	教 頭	受 験 者	33 (4)	45 (6)	1次合格者	27 (4)	32 (5)	倍 率	1.2倍	1.4倍	年度	校長・副校長		教 頭		受験者	合格者	受験者	合格者	R2	45 (2)	36 (2)	63 (8)	45 (7)	R3	33 (2)	29 (2)	62 (9)	49 (7)	R4	31 (7)	25 (6)	46 (7)	37 (6)
区 分	校長・副校長	教 頭																																			
受 験 者	33 (4)	45 (6)																																			
1次合格者	27 (4)	32 (5)																																			
倍 率	1.2倍	1.4倍																																			
年度	校長・副校長		教 頭																																		
	受験者	合格者	受験者	合格者																																	
R2	45 (2)	36 (2)	63 (8)	45 (7)																																	
R3	33 (2)	29 (2)	62 (9)	49 (7)																																	
R4	31 (7)	25 (6)	46 (7)	37 (6)																																	

件名	令和5年度県立学校教員採用（高校水産、高校英語）特別選考試験について							
概要	<p>1 職 種 高等学校水産科教諭、高等学校英語科教諭</p> <p>2 募集人員 高等学校水産科教諭（海友丸指導教員）1名 高等学校水産科教諭（機関）1名 高等学校英語科教諭 5名</p> <p>3 出願資格 次の（1）～（3）を全て満たし、かつ各教科の要件（下表①又は②）を満たす者。 （1）昭和38年4月2日以降に生まれた者。 （2）学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の各号の規定に該当しない者。 （3）令和5年4月1日以降の勤務が可能なる者。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 965 635 1272">水産科教諭 （海友丸指導教員）</td> <td data-bbox="635 965 1489 1272"> ①高等学校普通免許状「水産」又は「商船」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者で、三級海技士（航海）以上の海技免許状を有し、履歴限定解除されている者。 ②三級海技士（航海）以上の海技免許状を有し、5年以上船舶に乗船の経験を有する者で、履歴限定解除されており、技術優秀と認められる者。（※1） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1272 635 1496">水産科教諭 （機関）</td> <td data-bbox="635 1272 1489 1496"> ①高等学校普通免許状「水産」又は「商船」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者。 ②三級海技士（機関）以上の海技免許状を有し、5年以上船舶に乗船の経験を有する者で、技術優秀と認められる者。（※1） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1496 635 2089">英語科教諭</td> <td data-bbox="635 1496 1489 2089"> ①高等学校普通免許状「英語」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者。 ②高等学校普通免許状「英語」を有しない者で、CEFR B2相当の英語の語学力を有する者のうち、 ア 高等学校英語以外の普通免許状を有する者。 イ 民間企業等において、正規採用として、日常的に英語を使用した業務に従事した勤務経験が平成29年4月1日以降、令和4年10月31日までに3年以上ある者。（※1） ウ 大学・大学院在学中又は科目等履修生で、「教育の基礎的理解に関する科目」や「生徒指導、教育相談等に関する科目」を5単位以上取得し、かつ英語の技能を活用して学校現場における2週間程度の英語教育インターンシップ（授業、特別活動な </td> </tr> </table>	水産科教諭 （海友丸指導教員）	①高等学校普通免許状「水産」又は「商船」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者で、三級海技士（航海）以上の海技免許状を有し、履歴限定解除されている者。 ②三級海技士（航海）以上の海技免許状を有し、5年以上船舶に乗船の経験を有する者で、履歴限定解除されており、技術優秀と認められる者。（※1）	水産科教諭 （機関）	①高等学校普通免許状「水産」又は「商船」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者。 ②三級海技士（機関）以上の海技免許状を有し、5年以上船舶に乗船の経験を有する者で、技術優秀と認められる者。（※1）	英語科教諭	①高等学校普通免許状「英語」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者。 ②高等学校普通免許状「英語」を有しない者で、CEFR B2相当の英語の語学力を有する者のうち、 ア 高等学校英語以外の普通免許状を有する者。 イ 民間企業等において、正規採用として、日常的に英語を使用した業務に従事した勤務経験が平成29年4月1日以降、令和4年10月31日までに3年以上ある者。（※1） ウ 大学・大学院在学中又は科目等履修生で、「教育の基礎的理解に関する科目」や「生徒指導、教育相談等に関する科目」を5単位以上取得し、かつ英語の技能を活用して学校現場における2週間程度の英語教育インターンシップ（授業、特別活動な
水産科教諭 （海友丸指導教員）	①高等学校普通免許状「水産」又は「商船」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者で、三級海技士（航海）以上の海技免許状を有し、履歴限定解除されている者。 ②三級海技士（航海）以上の海技免許状を有し、5年以上船舶に乗船の経験を有する者で、履歴限定解除されており、技術優秀と認められる者。（※1）							
水産科教諭 （機関）	①高等学校普通免許状「水産」又は「商船」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者。 ②三級海技士（機関）以上の海技免許状を有し、5年以上船舶に乗船の経験を有する者で、技術優秀と認められる者。（※1）							
英語科教諭	①高等学校普通免許状「英語」を有する者又は令和5年3月31日までに取得見込みの者。 ②高等学校普通免許状「英語」を有しない者で、CEFR B2相当の英語の語学力を有する者のうち、 ア 高等学校英語以外の普通免許状を有する者。 イ 民間企業等において、正規採用として、日常的に英語を使用した業務に従事した勤務経験が平成29年4月1日以降、令和4年10月31日までに3年以上ある者。（※1） ウ 大学・大学院在学中又は科目等履修生で、「教育の基礎的理解に関する科目」や「生徒指導、教育相談等に関する科目」を5単位以上取得し、かつ英語の技能を活用して学校現場における2週間程度の英語教育インターンシップ（授業、特別活動な							

どの実践経験)等を終了している者(予定者を含む)。

※1 良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者とする。

4 出願期間 令和4年11月11日(金)～令和4年12月9日(金)
※当日消印有効、持参の場合は午後5時まで

5 選考試験

(1) 試験日 令和4年12月18日(日)

(2) 試験会場 長崎県庁行政棟3階316会議室

(3) 試験内容 【水産科教諭】

① 専門試験(小論文を含む)

② 個人面接(模擬授業を含む)

【英語科教諭】

① 専門試験(自由英作文を含む)

② 個人面接(模擬授業及び英語によるやりとりを含む)

(4) 合格発表 令和5年1月13日(金) 予定

6 その他

水産(海友丸指導教員)については、長崎鶴洋高校の海友丸指導教員1名が令和5年3月に退職することに伴い実施する。

水産(機関)については、長崎鶴洋高校の機関教諭1名が退職したことに伴い実施する。

英語については、令和5年3月に定年退職以外の退職者が複数名出ることに伴い実施する。

件名	令和5年度県立学校職員（船員）採用選考試験について								
概要	<p>1 職 種 船員（甲板員）</p> <p>2 募集人数及び出願資格</p> <table border="1" data-bbox="272 499 1519 815"> <thead> <tr> <th data-bbox="272 499 336 562">募集職種</th> <th data-bbox="336 499 491 562">募集人数</th> <th data-bbox="491 499 1519 562">対象者及び資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="272 562 336 815">船員 甲板員</td> <td data-bbox="336 562 491 815">1名</td> <td data-bbox="491 562 1519 815"> ①昭和58年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者 ②4級以上の海技士（航海）の免許を有する者又は令和5年3月31日までに当該免許を取得する見込みの者 ③令和5年4月以降の乗船が可能な者 ④地方公務員法第16条の各号の規定に該当しない者 ⑤日本国籍を有する者 </td> </tr> </tbody> </table> <p>3 出願期間 令和4年11月11日（金）～令和4年12月9日（金） ※当日消印有効 持参の場合は午後5時まで</p> <p>4 選考試験 (1) 試験日時 令和4年12月18日（日）午前9時30分～ (2) 試験会場 長崎県庁行政棟3階 315会議室 （長崎市尾上町3-1） (3) 試験内容 ①小論文 ②個人面接 (4) 合格者発表 令和5年1月13日（金）予定 </p>			募集職種	募集人数	対象者及び資格	船員 甲板員	1名	①昭和58年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者 ②4級以上の海技士（航海）の免許を有する者又は令和5年3月31日までに当該免許を取得する見込みの者 ③令和5年4月以降の乗船が可能な者 ④地方公務員法第16条の各号の規定に該当しない者 ⑤日本国籍を有する者
募集職種	募集人数	対象者及び資格							
船員 甲板員	1名	①昭和58年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者 ②4級以上の海技士（航海）の免許を有する者又は令和5年3月31日までに当該免許を取得する見込みの者 ③令和5年4月以降の乗船が可能な者 ④地方公務員法第16条の各号の規定に該当しない者 ⑤日本国籍を有する者							

<p>件 名</p>	<p>第18回長崎県高等学校総合文化祭（しおかぜ祭）及び 第17回長崎県中学校総合文化祭について</p>
<p>概 要</p>	<p>1 目 的 県内の中学校、高等学校及び特別支援学校の生徒に、文化部活動や教科等の学習の成果を発表、鑑賞、交流する場を提供するとともに、多様な文化活動を通して、豊かな感性を育て、創造的な人間の育成を図る。</p> <p>2 第18回長崎県高等学校総合文化祭（別紙1参照） (1) 期 間 令和4年11月11日（金）～13日（日） (2) 会 場 アルカスSASEBO大ホール（総合開会式） 小・中・大会議室（文芸）、大ホール（郷土芸能）、 中ホール（放送）、長崎東高校（将棋） (3) 内 容 ①総合開会式 …………… 開会行事、舞台発表、エンディング ②コンテスト形式 …… 文芸、郷土芸能、将棋、放送 ③展示形式 …………… 美術、書道、写真、新聞、図書、 JRC・ボランティア、文芸 ※総合開会式は、観覧席の半数を使用して開催。</p> <p>3 第17回長崎県中学校総合文化祭長崎大会（別紙2参照） (1) 期 間 令和4年11月17日（木）～18日（金） (2) 会 場 長崎ブリックホール (3) 内 容 ①展示部門 …………… 書（半紙・条幅）、美術（平面作品）ほか ②舞台部門 …………… 吹奏楽、意見発表、合唱、和太鼓、 演劇ほか ※観覧席の半数を使用して開催。</p>

令和 4 年度 第 18 回長崎県高等学校総合文化祭（しおかぜ祭）

1 総合開会式プログラム概要

- ・日 時 令和 4 年 11 月 11 日（金）14:00～15:30
- ・会 場 アルカス SASEBO 大ホール
- ・観客動員数 800 人（客席数 2000 席）
 - ・県北地区を中心とした高校生
 - ・舞台部門出演生徒及び引率教師
 - ・来賓

【第 1 部】 式典

- ・開会宣言 國本 明暉（県立佐世保西高校）生徒実行委員会副委員長
- ・ファンファーレ 合同部隊（県立川棚高校、県立波佐見高校、県立佐世保南高校）
- ・国歌独唱 前川 晴香（県立清峰高校）
- ・主催者挨拶 平山 啓一（長崎県高等学校文化連盟会長）
- ・県知事祝辞 大石 賢吾（長崎県知事）
- ・生徒実行委員長挨拶 小川 芳子（県立佐世保南高校）

【第 2 部】 生徒による発表・演奏等

- ・弁論発表（出場者は 11 月 2 日の大会において決定）
- ・郷土芸能発表（県立北松農業高校、県立佐世保西高校）
- ・マーチングバンド演奏（県立佐世保東翔高校）

【第 3 部】 エンディング

- ・加盟校紹介 生徒実行委員会制作の動画等で紹介
- ・高文連旗引継ぎ 県北地区から県央地区へ高文連旗の引継ぎ
- ・生徒実行委員会によるパフォーマンス

2 展示及び部門大会開催日程一覧

(1) 展示（美術、書道、写真、新聞、図書、JRC ボランティア、文芸）

日時 11 月 11 日（金）～13 日（日） 10:00～20:00（※最終日は 15 時まで）
会場 アルカス SASEBO 1F ギャラリー

(2) 部門大会

① 文芸専門部

日時 11 月 11 日（金）10:00～15:00
会場 アルカス SASEBO 大会議室・中会議室・小会議室

② 郷土芸能専門部

日時 11 月 12 日（土）13:00～16:15
会場 アルカス SASEBO 大ホール

③ 将棋専門部

日時 11 月 12 日（土）10:00～17:30（個人戦）
11 月 13 日（日）10:00～17:00（団体戦）
会場 県立長崎東高校 社会科教室

④ 放送専門部

日時 11 月 13 日（日）10:00～16:30
会場 アルカス SASEBO 中ホール等 20-

第17回 長崎県中学校総合文化祭 長崎大会

- 1 日 時 … 令和4年11月17日(木)～11月18日(金)
- (1) 展示部門 令和4年11月17日(木) 14:00～18:00
令和4年11月18日(金) 9:00～15:00
- (2) 舞台部門 令和4年11月18日(金) 10:00～16:00
【開会式……10:00～10:35】

2 会 場 … 長崎ブリックホール

- 3 観客動員数 … 1000人(客席数2000席)
- ・ 長崎市内の中学生
 - ・ 舞台部門出演生徒及び引率教師
 - ・ 舞台部門出演生徒の保護者
 - ・ 来賓

4 発表内容

(1) 展示部門 各支部から学校数に応じて出品(合計770点程度を予定)

- ・ 出品作品の分野は、①美術 ②書道 ③技術・家庭 ④理科
- ・ 特別支援学校は各校1点、私立は各校1～2点程度出品

(2) 舞台部門

- ・ 出演者及び団体
 - ① 長崎大学教育学部附属中学校 吹奏楽部
 - ② 五島市立久賀中学校 久が太鼓
 - ③ 大村市立玖島中学校 意見発表
 - ④ 諫早市立高来中学校 箏
 - ⑤ 長崎市立山里中学校 合唱
 - ⑥ 長崎市立桜馬場中学校 管弦楽部
 - ⑦ 新上五島町立有川中学校 弁財天(メーザイテン)太鼓
 - ⑧ 佐世保市立早岐中学校 演劇部
 - ⑨ 西海市立西彼中学校 黒潮太鼓
 - ⑩ 長崎県立佐世保北中学校 意見発表
 - ⑪ 純心中学校 コーラス部
 - ⑫ 長与町立長与中学校 吹奏楽部
- ・ 司会進行 … 長崎市内3中学校生徒会代表5名

5 WEB配信

- (1) 県インターネット放送局「よかよかテレビ」にて公開
- (2) 公開期間は2023年1月15日～2月15日

<p>件 名</p>	<p>令和4年度長崎県高等学校総合体育大会 駅伝競走大会について</p>
<p>概 要</p>	<p>1. 開 催 日 令和4年11月2日(水)</p> <p>2. コ ー ス 雲仙・小浜マラソンコース 男子 42.195km 女子 21.0975km</p> <p>3. 参加校・人数 男子35校 340名、女子22校 168名</p> <p>4. 競技結果 別紙一覧参照 ※結果は11月2日の大会後</p> <p>※令和4年度全国高等学校総合体育大会 駅伝競走大会(京都府)の概要</p> <p>1. 開 催 日 令和4年12月25日(日)</p> <p>2. コ ー ス たけびしスタジアム京都付設駅伝コース</p> <p>3. 出 場 校 男子47校 女子47校</p>

令和4年度 長崎県高等学校総合体育大会 駅伝競走大会

男子

総合成績・優勝記録・区間記録一覧表

【総合順位】

1	瓊	浦	2.11.17
2	松	浦	2.12.10
3	鎮西学院		2.12.31
4	創成館		2.12.47
5	大村工業		2.15.33
6	西海学園		2.17.58
7	長崎日本大学		2.18.28
8	九州文化学園		2.21.05
9	諫早		2.21.49
10	壱岐		2.25.15
11	五島		2.26.25
12	佐世保工業		2.27.16
13	諫早農業		2.27.32
14	口加		2.28.08
15	長崎北		2.29.32
16	清峰		2.30.09
17	長崎総科大附		2.30.25

18	長崎西		2.32.29
19	長崎東		2.32.31
20	佐世保西		2.32.48
21	長崎北陽台		2.32.54
22	大村		2.33.14
23	西陵		2.34.46
24	青雲		2.35.36
25	島原工業		2.36.15
26	川棚		2.38.22
27	壱岐商業		2.38.54
28	上五島		2.39.21
29	対馬		2.39.59
30	佐世保北		2.41.57
31	島原		2.43.16
32	小浜		2.45.32
33	長崎玉成		2.51.32
34	西彼杵		3.20.12
	鹿町工業	棄権	

【区間最高記録】

区間	氏名(学年)	学校名	所要時間	前回までの最高記録
1区	後田 築 (3)	創成館	30.28	28.51
2区	高木 凌 (3)	鎮西学院	8.56	8.36
3区	志田 月偉 (3)	瓊浦	24.47	23.33
4区	中村 聡汰 (2)	鎮西学院	25.39	24.05
4区	山下 優馬 (2)	大村工業	25.39	24.05
5区	坂井 勇介 (2)	鎮西学院	8.40	8.30
6区	濱口 誠太 (3)	松浦	15.33	14.31
7区	牟田 廣太 (1)	鎮西学院	15.09	14.26

【優勝校】 瓊浦高校

2時間11分17秒

区間	氏名(学年)	所要時間	区間距離	区間順位
1区	出口 稜太郎 (3)	31.12	10km	2位
2区	井口 愁斗 (2)	9.08	3km	2位
3区	志田 月偉 (3)	24.47	8.1075km	1位
4区	松尾 岳 (2)	26.06	8.0875km	5位
5区	水戸 俊介 (1)	8.46	3km	2位
6区	川口 新太 (2)	15.53	5km	2位
7区	東 秀敏 (2)	15.25	5km	2位

前回までの最高記録

2時間6分46秒

※瓊浦は7年ぶり5回目

【気象状況】 (観測場所 雲仙市小浜体育館)

時間	12時20分	13時00分	14時00分	15時00分
天候	晴	晴	晴	晴
気温	25.℃	24.5℃	24.6℃	23.℃
湿度	47%	51%	51%	52%
風向	北西	西	西北西	西北西
風速	0.6m/s	1.0m/s	1.3m/s	1.0m/s

令和4年度 長崎県高等学校総合体育大会 駅伝競走大会
女子 総合成績・優勝記録・区間記録一覧表

[総合順位]

1	諫 早	1.10.27	12	川 棚	1.28.41
2	長崎女子	1.14.16	13	諫早商業	1.29.18
3	鎮西学院	1.16.27	14	佐世保西	1.30.38
4	長崎商業	1.16.40	15	大 村	1.30.41
5	口 加	1.21.59	16	長崎北	1.34.23
6	杵 岐	1.24.33	17	佐世保南	1.34.59
7	長崎西南	1.24.38	18	清 峰	1.36.23
8	長崎南	1.27.41	19	活 水	1.37.26
9	五 島	1.27.59	20	島 原	1.39.12
10	佐世保商業	1.28.14	21	小 浜	1.39.59
11	創成館	1.28.24	22	上 対馬	1.50.59

[優勝校] 諫早高校 1時間10分27秒

区間	氏名(学年)	所要時間	区間距離	区間順位
1区	藤丸 結(3)	19.33	6.0km	1位
2区	高瀬 詩織(1)	14.00	4.0975km	1位
3区	野村 夏希(2)	10.23	3.0km	1位
4区	扇 七帆(2)	10.07	3.0km	1位
5区	田中 咲蘭(3)	16.24	5.0km	1位

前回までの最高記録 1時間7分39秒

※諫早は4年連続28回目

[区間最高記録]

区間	氏名(学年)	学校名	所要時間	前回までの
				最高記録
1区	藤丸 結(3)	諫早	19.33	18.29
2区	高瀬 詩織(1)	諫早	14.00	13.04
3区	野村 夏希(2)	諫早	10.23	9.31
4区	扇 七帆(2)	諫早	10.07	9.34
5区	田中 咲蘭(3)	諫早	16.24	16.04

[気象状況] (観測場所 雲仙市小浜体育館)

時 間	10:00	11:00
天 候	晴	晴
気 温	23.5℃	25.℃
湿 度	49%	44%
風 向	西北西	北西
風 速	1.0m/s	0.9m/s

<p>件 名</p>	<p>第77回国民体育大会について</p>
<p>概 要</p>	<p>1. 大会愛称 いちご一会とちぎ国体</p> <p>2. 大会期間 令和4年10月1日(土)～10月11日(火)</p> <p>3. 県選手団 32競技75種別 385名(本部役員14名、監督・選手371名)</p> <p>4. 総合成績(冬季を含めた通算成績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天皇杯 45位 得点 676.0点 (前回(R1)26位 得点 903.0点) ・ 皇后杯 47位 得点 369.5点 (前回(R1)25位 得点 554.5点) <p>※ 各県成績は別紙のとおり</p> <p>5. 入賞状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 個人種目・・・10競技 29種目 競技得点111.0点 (前回(R1)9競技 31種目 競技得点132.5点) (2) 団体種目・・・8競技 8種目 競技得点175.0点 (前回(R1)12競技 15種目 競技得点370.5点) <p>※ 入賞一覧は別紙のとおり</p>

天皇杯／皇后杯 総合得点一覧表

いちご一会とちぎ国体

大会委員長 大野敬三
2022/10/11

【競技終了】

<<都道府県順>>

<<成績順>>

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
北海道	9位	1348.5	北海道	21位	619.5
青森	42位	727	青森	39位	474.5
岩手	30位	847.5	岩手	28位	559
宮城	27位	886.5	宮城	25位	568.5
秋田	31位	840.5	秋田	37位	482
山形	40位	761.25	山形	26位	567.5
福島	41位	733	福島	45位	423.5
茨城	19位	1107	茨城	30位	555
栃木	2位	2270.5	栃木	2位	1092
群馬	22位	1040	群馬	16位	655
埼玉	3位	1932.5	埼玉	4位	1006
千葉	7位	1490.75	千葉	10位	786.5
東京	1位	2436	東京	1位	1311
神奈川	6位	1659.5	神奈川	8位	820
山梨	33位	816.5	山梨	33位	520.5
新潟	35位	801.5	新潟	38位	475.5
長野	15位	1152.5	長野	13位	703
富山	29位	855.5	富山	29位	555.5
石川	28位	870.5	石川	20位	621.5
福井	18位	1114	福井	18位	626.5
静岡	17位	1116.5	静岡	17位	648.5
愛知	4位	1766	愛知	3位	1027
三重	12位	1325.5	三重	15位	690
岐阜	13位	1321	岐阜	7位	836
滋賀	20位	1096.5	滋賀	24位	608
京都	10位	1332.5	京都	9位	793.5
大阪	5位	1737.5	大阪	5位	907.5
兵庫	11位	1329	兵庫	6位	847.5
奈良	25位	893.75	奈良	32位	528
和歌山	39位	761.5	和歌山	36位	483
鳥取	44位	679.5	鳥取	40位	462.5
島根	43位	680	島根	41位	452.5
岡山	16位	1135.5	岡山	23位	612
広島	26位	893.5	広島	19位	623
山口	38位	781	山口	43位	449.5
香川	36位	800	香川	42位	450.5
徳島	47位	607	徳島	44位	426
愛媛	23位	1003.5	愛媛	22位	618
高知	46位	673	高知	46位	394
福岡	8位	1380.5	福岡	11位	756.5
佐賀	21位	1095.75	佐賀	14位	701
長崎	45位	676	長崎	47位	369.5
熊本	37位	797.5	熊本	35位	496
大分	24位	989	大分	27位	561
宮崎	32位	834.5	宮崎	31位	537.5
鹿児島	14位	1218.5	鹿児島	12位	724.5
沖縄	34位	804.5	沖縄	34位	507.5
合計		51420	合計		29933

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
東京	1位	2436	東京	1位	1311
栃木	2位	2270.5	栃木	2位	1092
埼玉	3位	1932.5	愛知	3位	1027
愛知	4位	1766	埼玉	4位	1006
大阪	5位	1737.5	大阪	5位	907.5
神奈川	6位	1659.5	兵庫	6位	847.5
千葉	7位	1490.75	岐阜	7位	836
福岡	8位	1380.5	神奈川	8位	820
北海道	9位	1348.5	京都	9位	793.5
京都	10位	1332.5	千葉	10位	786.5
兵庫	11位	1329	福岡	11位	756.5
三重	12位	1325.5	鹿児島	12位	724.5
岐阜	13位	1321	長野	13位	703
鹿児島	14位	1218.5	佐賀	14位	701
長野	15位	1152.5	三重	15位	690
岡山	16位	1135.5	群馬	16位	655
静岡	17位	1116.5	静岡	17位	648.5
福井	18位	1114	福井	18位	626.5
茨城	19位	1107	広島	19位	623
滋賀	20位	1096.5	石川	20位	621.5
佐賀	21位	1095.75	北海道	21位	619.5
群馬	22位	1040	愛媛	22位	618
愛媛	23位	1003.5	岡山	23位	612
大分	24位	989	滋賀	24位	608
奈良	25位	893.75	宮城	25位	568.5
広島	26位	893.5	山形	26位	567.5
宮城	27位	886.5	大分	27位	561
石川	28位	870.5	岩手	28位	559
富山	29位	855.5	富山	29位	555.5
岩手	30位	847.5	茨城	30位	555
秋田	31位	840.5	宮崎	31位	537.5
宮崎	32位	834.5	奈良	32位	528
山梨	33位	816.5	山梨	33位	520.5
沖縄	34位	804.5	沖縄	34位	507.5
新潟	35位	801.5	熊本	35位	496
香川	36位	800	和歌山	36位	483
熊本	37位	797.5	秋田	37位	482
山口	38位	781	新潟	38位	475.5
和歌山	39位	761.5	青森	39位	474.5
山形	40位	761.25	鳥取	40位	462.5
福島	41位	733	島根	41位	452.5
青森	42位	727	香川	42位	450.5
島根	43位	680	山口	43位	449.5
鳥取	44位	679.5	徳島	44位	426
長崎	45位	676	福島	45位	423.5
高知	46位	673	高知	46位	394
徳島	47位	607	長崎	47位	369.5
合計		51420	合計		29933

第77回 国民体育大会
「2022いちご一会とちぎ国体」における本県選手団の入賞一覧(順位別)

18競技37種目【R1:20競技46種目(903.0点)、H30:16競技46種目(725.0点)、H29:20競技67種目(940.0点)】

順位	競技名	種別名	種目名	氏名・チーム名	成績	競技得点
1位	ライフル射撃	少年男子	BP60J	内田 翼	235.6点	8.0
	銃剣道	成年男子	団体戦	長崎県選抜		24.0
2位	陸上	成年女子	5000m	廣中 璃梨佳	15分23秒9	7.0
	レスリング	少年男子	グレコローマン51kg級	小川 大和		7.0
	相撲	成年男子	団体戦	長崎県選抜		21.0
	バドミントン	少年男子	団体戦	長崎県選抜		21.0
	ライフル射撃	少年女子	BR60WJ	森保 詩乃	248.6点	7.0
	カヌー	成年男子	K-1(500m)	水本 圭治	1分42秒079	7.0
3位	レスリング	成年男子	フリー97kg級	大津 拓馬		5.5
		女子	フリー62kg級	吉武 まひろ		5.5
	ウエイトリフティング	成年男子	スナッチ81kg級	山口 洋文	142kg	6.0
	ソフトボール	少年男子	団体戦	長崎県選抜		44.0
4位	カヌー	少年男子	C-2(200m)	古賀・内野組	44秒311	5.0
	ゴルフ	成年男子	団体戦	長崎県選抜		15.0
5位	陸上	成年男子	400mH	尾崎 雄祐	50秒48	4.0
	レスリング	少年男子	グレコローマン71kg級	小関 勝斗		2.5
	ラグビー	少年男子	団体戦	長崎県選抜		28.0
	カヌー	成年男子	C-1(200m)	高比良 海斗	42秒767	4.0
		成年女子	ワイルドウォーターWK-1スプリント	保喜 ちひろ	1分8秒40	4.0
	空手道	成年男子	形	林田 至史		2.5
	ボウリング	成年男子	個人戦	福満 亮	1939点	5.0
6位	ボート	少年男子	シングルスカル	坪森 省吾	3分48秒89	3.0
	自転車	少年男子	スプリント	松本 昂大		3.0
	馬術	成年女子	標準障害飛越	柿平 紗枝	1分8秒51	3.0
	ライフル射撃	少年混合	BRMixJ	中川優希・森保詩乃	622.1点	3.0
	カヌー	成年男子	ワイルドウォーターK-1スプリント	寺島 峻一郎	50秒41	3.0
		成年女子	ワイルドウォーターWK-1 1500m	保喜 ちひろ	6分43秒80	3.0
7位	陸上	成年女子	800m	原 あかり	2分14秒58	2.0
	軟式野球	成年男子	団体戦	長崎県選抜		16.0
	ライフル射撃	成年男子	10mAR60PR	池野 仁	625.9点	2.0
	スポーツクライミング	成年女子	ボルダリング	長崎県選抜		6.0
	カヌー	成年男子	ワイルドウォーターK-1 1500m	寺島 峻一郎	5分29秒46	2.0
		成年男子	C-1(500m)	高比良 海斗	1分55秒018	2.0
		少年男子	C-2(500m)	古賀・内野組	2分0秒146	2.0
8位	ボート	成年女子	シングルスカル	山崎 明音	4分11秒12	1.0
	ウエイトリフティング	成年男子	クリーン&ジャーク81kg級	山口 洋文	164kg	1.0
		女子	クリーン&ジャーク59kg級	溝口 初音	102kg	1.0
					計	286.0
					参加点	390.0
					総合得点	676.0